

はじめに

令和5年第1回倶知安町定例町議会の開会にあたり、12月定例会以降における教育行政の主だった事務事業の執行状況及びその概要についてご報告いたします。

最初に、町民、議員の皆さまに大変ご心配をおかけしております倶知安町立小学校の事故事案の経過について報告いたします。

令和3年3月に道教委に再提出した元担任の事故報告書の結果については、令和4年12月下旬に道教委より連絡があり、元担任の追加処分はございませんでした。

この結果を受け、保護者様へは経過と結果、また再発防止について文書で説明をさせていただきました。

保護者様の理解と納得を得るには、より詳細な説明が必要でありますことから、この後は、面会による説明についても相手方の意向に合わせながら行っていくよう、内容や日程のすり合わせを進めているところです。

(学校教育課関連)

1 令和5年度の学級編制の動向について

令和5年度の学級編制にあたり、2月1日現在の主な状況について報告いたします。

まず、小学校については、6学年を含めたすべての学年で少人数学級編制となります。

このため、2月15日現在で、倶知安小学校は全学年が2学級の見込みとなっております。また、北陽小学校は6学年が2学級、その他の学級は1学級、東小学校は4学年が2学級、その他の学年は1学級、西小学校は5学年が2学級、その他の学年は1学級、樺山分校は複式の3学級となる見込みです。

次に、中学校では、1年生が112人で少人数学級編制による4学級、2年生が127人で正規の4学級となりますが、3年生は109人で、基準学級数が3学級となる見込みであることから、町費教員の配置により学級編制の弾力化を行い、すべての学年を4学級でスタートさせたいと考えております。

なお、特別支援学級については、倶知安小学校で知的・情緒、北陽小学校で知的・言語・情緒、東小学校で知的・難聴・情緒、西小学校で知的・弱視・情緒、倶知安中学校では知的・情緒それぞれ1学級が編制される見込みです。

2 中体連スキー競技の全道・全国大会への出場について

中体連の冬季スキー競技は、毎年1月に全道大会、2月に全国大会が開催されます。

クロスカントリー競技については、1月12日と13日の両日に地元、倶知安町旭ヶ丘クロスカントリースキーコースにて開催され、男子2名、女子3名が出場しました。結果は、2年男子山本陽崇さんがクラシカル8位、フリー4位、3年女子の新井朝海さんがクラシカル7位、フリー5位、2年女子の安藤優羽さんがクラシカル3位、フリー4位、小椋咲和さんがクラシカル9位、フリー3位で入賞し、全国大会への出場権を手に入れました。また、1年男子押尾有朔さんもクラシカルで12位と健闘し、出場選手5名全員が全国大会へ出場するという快挙を成し遂げました。

また、アルペン競技は、1月21日と22日に小樽市朝里川温泉スキー場で全道大会が開催され、男子1名、女子1名が出場しました。結果は2年女子の岡田果穂さんが大回転3位、回転6位で入賞し全国大会出場となりました。

全国大会は2月7日から10日まで、クロスカントリー競技及びアルペン競技共に長野県野沢温泉村で開催されました。

クロカン競技は個人の入賞はなりませんでした。新井さんと小椋さんの女子2名がリレー競技の北海道選抜チームの一

員として出場し4位入賞、アルペンの岡田さんは大回転7位、
回転10位で入賞し、両競技共に全国の舞台上で活躍しています。

3 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象は小学校5年生、中学校2年生で、今年度も小・中学校共に8つの種目を行いました。

まず、小学校男子では、8種目中5種目、女子は8種目中6種目、中学男子は8種目中6種目、中学女子は8種目中4種目で全国平均を上回り、体力合計点は小学校男女、中学校男女共に全国を上回る結果となりました。

種目別では、握力、反復横跳び、立ち幅とびの3つで、どのステージにおいても全国平均を上回っております。

昨年度は中学男子以外は全国平均点を下回っており、コロナ禍による子ども達の運動不足が心配されましたが、少しずつ平時の活動が戻り、子ども達の体力についても回復してきている兆候と考えます。

今後は、調査結果を踏まえ、子ども達が身体を動かすことを楽しみ、更に体力向上を図ることのできる取組みを進めてまいります。

4 小学校の英語教育について

11月5日に、町内小学校6年生がケンブリッジ英検を受検しました。

平均値等の結果から学習到達度を読み取りますと、スピーキング力は、5点満点中4.2点で、6学年終了時の到達目標であるPreA1レベルに十分達していること、リスニング力は5点満点中3.0点で、PreA1レベルより若干下にいることを示しています。

一方で、リーディング・ライティング力は、昨年に比べ数ポイント上昇したものの、5点満点中2.1点で、PreA1レベルより下にいることを示しております。

また、合計15点満点中、PreA1レベルである10点以上を獲得した受検者は全体の40%であり、6～9点を獲得した受検者は51%、その中でPreA1レベルに限りなく近い9点を獲得したのは21%であり、5点以下だったのは9%でした。

この結果から、倶知安町の6年生児童は、スピーキング力が最大の強みであり、シンプルなコミュニケーションのやり取りにおいては、既に英語を使うことができ、リスニング力においても一定程度の力は備わっていると判断できます。今後は、引き続き耳で英語に触れる機会や、より高いレベルの語彙に触れ

る頻度を更に高めることが求められます。

また、リーディング・ライティング力が世界基準に照らし合わせて低いのは、現段階の日本の小学校における英語教育が「読み・書き」に重点を置いていないことも影響していると思われます。この点を引き上げるためには、口頭練習において、話したり聞いたりすることに慣れたら、すぐにその読み方を見せるなどし、リーディング力を向上させる必要があると分析しております。

なお、リーディング・ライティング力は昨年も弱みとなっており、今年度はこの点について、児童が活字を目にする機会を増やすなど、授業改善を行ったことで昨年に比べ10%程度向上する結果となっております。

今後は、この結果から得られた現6年生の強みと弱みについて、小学校から中学校へしっかりと引き継ぎ生かしていくことで、本町が目標とする『子どもたちの未来を拓く英語教育』の実現を目指した、英語力向上の取組を進めてまいります。

(社会教育関連)

1 成人記念式典「はたちのつどい」について

1月8日倶知安町公民館大ホールにおいて、令和5年倶知安町成人記念式典「はたちのつどい」を開催いたしました。

令和4年4月の民法改正により、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられましたことから、今回から主旨を改め、はたち(20歳)を節目として同級生と再会し、ふるさとの再認識や愛郷心を深める機会となる意義を込めて、地域ぐるみでお祝いをする「はたちのつどい」といたしました。

式典には対象者の83%にあたる111名が参加し、ご家族や関係者、来賓等の102名を合わせて213名の出席がありました。

来場者に対しては、手指のアルコール消毒の励行やマスクの着用、座席間隔の確保といった基本的な対策に加え、式典規模の一部縮小や、式典後の飲食に対する注意喚起等を徹底しながら開催しております。

こうしたコロナウイルス感染防止対策もあり、例年よりも多くの方々が参加され、はたちの皆様やご家族の皆様に大変喜んでいただきつつ、厳粛で温かな式典となりましたことをご報告いたします。

2 町民向け英語研修について

令和4年度の町民向け英語研修は、日中に日常英語コース1クラス、夜間に仕事英語コース1クラスの計2クラスを設け、合計44名で実施しました。

日常英語コースでは、教科書に沿って、自己紹介や日常生活の習慣など基礎的な英語でのやり取りを学び、短いフレーズを使っての会話を楽しめるようになったようでした。

仕事英語コースでは、実際に参加者たちが遭遇している英語でのやり取り場面を聞き取り、それを学習プログラムとして研修しました。語彙や発音、フレーズ会話の仕方を学び、多くの方が短い会話でやり取りすることに自信を持てるようになったとお聞きしております。

なお、実施後に行ったアンケートの集計結果から、「大変有意義だった」または「有意義だった」の回答が、日常英語コースで89.5%、仕事英語コースで81.3%となっており、また、英語への理解が「大変深まった」または「深まった」の回答も全体で82%となっていることから、事業の実施については概ね効果的であったと考えております。

3 町営プール及び絵本館建替に向けた対応について

プール及び絵本館の建替に向けた検討につきましては、10月に策定した基本構想に続き、11月28日より基本計画策定業務に着手いたしました。

基本計画においては、プールに加え絵本館・世代交流センターを含めた整備を進めていくこととしており、まずは具体的な規模及び機能、適切な配置について検討しておりますが、絵本館に関しては11月より関係者とのワークショップを複数回開催し、望まれる役割や機能について意見を頂いております。また、プール機能についても関係者からのヒアリングを改めて実施するなど、利用者の視点で検討を継続しているところです。

これらの施設については、子どもを中心に親子やシニアなど、多世代が集うことができるという共通点があることから、関係者からの意見も踏まえつつ、新施設についてはプール・絵本館・コミュニティスペースを備えた複合施設を目指す方向とし、1月に開催したプロジェクトチームでも意見をいただきながら、その方向性について町長部局と共有したところです。引き続き、新たな施設の規模・施設配置、事業方式やスケジュールなど、具体的な整備プランの検討を進めてまいります。

4 美術館・風土館事業について

美術館では、10月1日から11月27日までの「倶知安高校100周年記念 京極夏彦美術展」が終了いたしました。

期間中にはご本人のトークイベントも行われ、終了までに大変多くのファンや町民の方々が来館され、お楽しみいただくことができました。

風土館では、11月30日から哺乳類を中心とした常設のジオラマ展示を新設いたしました。使用している剥製資料は、元々風土館において保管・展示していたもののほか、洞爺湖町の旧森林博物館や、西小学校から移譲されたものもクリーニングした上で活用しております。冬期に入ってから海外からのお客様も多く来館され、お喜びいただいております。

むすびに

以上、第4回定例町議会以降の教育行政の主な事業について
ご報告申し上げましたが、事務事業の詳細につきましては、以
下に掲載しております資料をご参照いただきたいと思います。

これで教育行政報告を終わります。

(資料1) 会議などの開催状況及び事業概要 P12～

(資料2) 各種工事、委託業務等の発注状況 P18～